

IGKC 剣道訪問交流の報告

2017. 5. 24～6. 3

訪問団メンバー 14名（敬称略）

団長； 湯村正仁 範士8段

引率者；前野頼彦 錬士7段、

団員；教士8段 曾根孝悦、米倉 滋、 森 文雄

教士7段 芳賀嘉幸、井上一久、上野和雄、會田栄司、下平真一郎、菊井原 緑

錬士6段 桜庭阿恵、乾 喜代子、御主人 乾 朋義

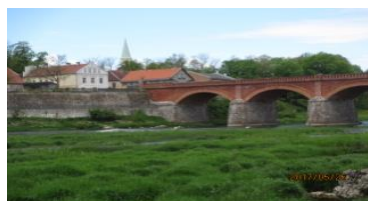
*参加者集合

5月24日（水）、14；30フィンランド空港に日本各地から集合、16；10発でリガへ出発
17；30着、リガ空港には会長のキンズーリス氏が出迎えて下さり、バスにて1時間、
市内のシティーホテルヘイン、旧市街のレストランにて全員の無事到着と参加を祝い、ホアグラの乗った
ステーキとワインにて美味しい夕食を戴きました。

*クールデイガ市訪問

翌朝、25日はリガから300キロ離れた旧都市、「クールデイガ市」へ剣道普及の為デモンストレーション
と観光を兼ねて出発しました。景色は草原の続く間に満開の菜の花畑が続きます。目的地には3時間掛かり
ました。着いた体育館では小学生たちが集まりキンズーリス氏の和弓の演武が披露され、観客と子供たちの
歓声が上がります。その後、子供たちの剣道の体験で、3人の女性に面を着けて戴き、竹刀にて面打ちの体
験を40～50人程して頂き、最後に日本の我々の剣道稽古風景を觀賞してもらいデモンストレーション
は終わりました。

其の後、この町の中ほどの古いホテルにイン、古い街並みを観光し、夕食をいたしました。



*リガ市にて稽古会

翌日26日（金）は元のリガ市のホテルに帰り、午後6時から少し狭い体育館にて今回のセミナー参加の
26名の方々と稽古会を約1時間行いました。

*第7回 湯村杯剣道大会

27日（土）毎回行方施設にて今回も開催、床の立派な体育館です。

午前中は審判並びに各講習会を行い、其の後、個人戦の試合を開始しました。

地元の剣道有段者の中から3名の方に審判員に加わって戴き試合をすることになりました。

開会式にはラトビア日本大使館から2名の書記官が来賓でご参加され、キンズーリス会長のご挨拶後試合
が開始されました。今回の参加者は52名との事です。（来賓祝辞・審判長説示なし
キッズ、ジュニア、男子、女子4部門です。（昨年は80名ほどの参加者）

試合方法は4人のリーグで勝ち上がった所でトーナメントになっています。

約1時間30分で全ての入賞者が出そろいました。下記に入賞者氏名を記しました。

Men'individual

1 Mykolas Maciulevicius (LTU) 2 Aleksandr Prooks(RUS)

3 Denis Arsenin(LAT) / Vladimir Ogorodnikov(RUS)

Ladies Individual



1 Raminta Girdzijauskaitė(LTU) 2 Anastasiya Sitanova(RUS) 3 Anastasiya Yumatova / Silena Gromova(LAT)

Junior's Individual 1 Silena Gromova(LAT) 2 Aksels Jurgens(LAT)

Kid's Individual 1 Ricard Korol(LAT) 2 Nikita Kindzulis(LAT)



*お茶の作法・書道体験

大会終了後はキッコーマンの弁当とお味噌汁が付いた和食弁当を参加者と共に戴きました。午後は、恒例のお茶の作法を、乾さんが点てた抹茶で、和三盆を戴きお茶席を楽しみました。うしろには書道の支度も整い、日本から持参した、筆と墨で自分の名前や思いの文字を書いて体験をしてもらい日本文化を楽しんで戴きました。



*稽古会・答礼すしパーティー懇親会

全ての予定が終了後は全体の稽古会を約50分行いました。

この間、この後のすしパーティーの為、3名の女性たちと乾さんのご主人で支度をして戴きました。すしパーティーは日本から来た私達が参加者をねぎらう為の懇親会です。この準備の午前中にこの地区が断水となり、水を大量に使用する為、大変な思いで水を購入して運び込みました。

ごはん、手巻き寿司用の具材、餃子作り、カレーライス、日本そばの支度等々厨房を借りての支度です。

(特に今回は日本そばが初めて出され大変好評でした。)

広い廊下に机、椅子が並べられ支度は整いました。稽古終了後シャワーを済ませ、3階に上がり稽古後の渴きをビールで乾杯して潤し、言葉は通じなくても和気あいの懇親会は盛り上がります。



*リガの講習会

28日(日)参加者は、私達がこの後の予定で、リトアニア訪問を予定しているため、リトアニアの方々は帰国され、前日参加者より減りました。

午前10時から湯村範士のセミナーです。上半身を脱ぎ、筋肉、関節、竹刀の握り打突の動作、打突後の上半身の状態、構えの状態、臍下丹田に気を納めて立ち会う事等、詳細に約1時間講義をされました。

其の後は4クラスに分かれて、剣道講習会・剣道形を行い、初心者クラスは6名、竹刀の打突の要領から基本打ちを稽古そして、面に対する3ヶの応じ技を稽古しました。出来ても出来なくても種を植えていくつもりで寝めながら覚えて戴きました。うれしいことに昨年は医学生の初心者で稽古をしていたショーロ君が(剣道2級)今年は救急医師となり成長した姿で参加してくれていました。終了後は記念写真を撮り合い来年の再開を約してリガの行事が終了、お別れとなりました。



*初訪問ベラルーシ（ミンスク）へ移動

29日（月）11；20のベラルーシ行の飛行機を予定して空港に行きましたが、預け荷物は1個まで20kg以下は無料とされていましたが、どんな理由かわかりませんが、一人70ユーロの代金を取られて、また、ミンスクの空港では一人4ユーロの保険代と称して代金を取られて、やっと入国となりました。海外は国の事情、飛行機会社の都合がわからず、アクシデントが結構あります。

ミンスクへは約60分の飛行時間でした。空港へはイローナさん(会長・剣道2級)、スロブエン氏(剣道3段)がお迎えに来て下さり、バス2台(1台は荷物用)にてホテルへ向かいました。この国は1990年ロシアから独立、人口は9千万、内陸地帯、標高は350メートルが一番高く、湿地帯です。ロシア語、ベラルーシ語、お金はベラルーシ・ルブル、EUには加盟していません。共和国ですが、ルカシェンコ大統領の30年間、独裁体制の国です。ホテルは思いに反して、21階建ての高層、素晴らしいホテルです。全員、20階に部屋を用意して下さり、抜群に良い眺めです。チェックインが済むと食事の為、ホテル前の広大な公園を、向かい側のビルまで30分は歩きました。そこで、ビュッフェスタイルで各自好きそうな物を選んで、席につき黒ビールでスロブエン氏、イローナさん、他剣友が集まり、乾杯をして訪問を喜びました。



*ミンスクで講習会

30日（火）午前10時から複合施設の体育館内で(床は木)互いのあいさつ、そして、湯村先生の講話がありました。やはり基本である、臍下丹田に気を納めて、構え、打突等剣道の基礎の部分の説明されました。

其の後は、4クラスに分かれて、講習を行いました。

初心者クラスは8名、足さばきから、竹刀保持、打突、そして打突部位のすり足での連続打ちを行い、最後に出頭の打ち方の基礎方法を時間掛け、理解をして頂けるように指導をしていきました。

其の後は全体の稽古を行いました。午後4時、シャワーを使い、身支度をして観光の予定です。

*ベラルーシの野外戦場博物館と懇親会（スターリンライン）

午後4時からバスにて約1時間、着いた所が、戦車が並び、広い軍事基地の様です。ここはスターリンラインと呼ばれるドイツ軍との戦争で防御を果たした戦勝記念の野外軍事博物館でした。



剣道2段、ベラルーシ軍隊の将校であるアレクサンダーさんが凛々しい軍服で迎えて下さり、大砲の設置個所や、防空壕、戦車等の案内をして下さいました。その間に剣道の仲間も集りにぎやかに懇談しました。

その後、ワインにビール、おつまみ等の御もてなしをして下さいました。これで終わりかと思いましたが、別の施設へ案内され、我々に軍服を着用するように促され、軍服、帽子、長靴に本物のライフル型鉄砲を持たされ、玉を入れて肩に掛けた所へ、軍用トラックの荷台に乗せられ、先ほどの防空壕の先にある草原に下って行き、戦車の後ろへ降ろされ、戦車と同行を担当の軍人から要求され、どうやら疑似戦争を体験させるようだと理解しました。いわれるままに前進すると向こう側から大きな大砲の音がして、近くの草原に着弾、燃え上がります。そして、やはり鉄砲の音が連続してなり、近づいて来ます。我々にも応戦しろと促しますので、空へ向けて約20発の空砲を打ちました。この間、どんどん草原に煙が立ち火が燃え上がりました。先頭の軍人同士が衝突、ぶつかり合いになり、こちら側が勝利した雄たけびが聞こえ、旗が振られ戦車が反転、それに乗るように指示され、元の場所に帰還した所で、記念写真を撮り、終了しました。

残念ながら、自分たちのカメラは持参していないので、この写真が記念になりました。

帰りの草原を歩いていると、池の中に建てられた趣のあるログハウスに案内されました。そこには

赤、白ワイン、ビール、ウオッカ等のお酒が並び、長い机いっぱいにも鮮やかな御馳走がきれいに添えられ、パーティーの準備が出来ていました。ベラルーシの剣友も山の頂から、我々を見学していたと見え、この場所に参加して、歌も飛び出し、大懇親会になりました。懇親会の終了は夜 10 時過ぎでした。白夜の為、10 時過ぎまで明るいのです。まだ地平線は綺麗に赤みを帯びています。待機していたバスにてホテルに帰り着いた時は 11 時過ぎ、海外は自然も人の動向もやはり違いがありますので、興味津々です。が、寝不足にはなりません。



*ベラルーシの剣道形の講習

31 日(水)午前 10 時から剣道形の講習です。午前中で今回の講習会は全て終わります。彼らは平日にもかかわらずこれだけ大勢(26 名)の参加が有りましたので、聞いたところ、昨年、この講習会に合わせて休みを変更して参加してきているとの事、この国では産業もなく、月収も多くは有りません。頭が下がります。形の講習も 4 クラスに分かれて、懇切に指導をし、理解と実際の技術が上達するべく、懸命に所作、動作を学んでいただきました。

*宿泊ホテル(ベラルーシホテル)

宿泊のベラルーシホテルは高層 21 階建て、隣の丸形はカジノの建物だそうです。ですが、覗いて見る時間はありません。設備、内装もちろんいいのですが、朝食メニューが豊富で、ラ・フランスや焼きリンゴなどデザート等も一級でした。私ども全員は 20 階の客室で、眺望は抜群、空気が乾燥していて晴天続きでしたから、なお、遠くまで白夜の緑と建物の美しい景色が楽しめました。

ただ、カードで現金を卸そうとした方が、カードがそのまま ATM 機械の中に入ったまま出てこない事態になり、翌日、当地の銀行マンが来てカードが戻るというアクシデントもありました。

*リトアニア(ビリュニス)日本大使公邸へ訪問

5 月 31 日(水)ベラルーシでの剣道形講習が終了と同時に荷物のかたづけを終えバスにて空港へ、ベラルーシ空港でのアクシデントがありましたので、早めに空港へ到着をして、準備、イローナさんとスロブェン氏が見送りに来てくださいました。そこでお尋ねした所、御二人は今年の 2 月に結婚した所との事、皆で拍手のお祝いをいたしました。

30 分程の時間で無事ビリュニスに到着しました。時間は午後 6 時 30 分、ホテルにイン、すぐ正装に着替えを済ませて、ビリュニスの日本大使公邸へ向かいました。午後 7 時頃、到着、重枝大使ご夫妻と書記官の方々がお迎え下さり、旧交を温め合い、広い応接間にて大使の歓迎のご挨拶、湯村範士のご挨拶、ラトビアから来られた、キンズーリス会長のご挨拶、そして、地元リトアニア剣連の会長のご挨拶がされ全員の記念写真を撮りました。その後は大使館がご用意くださった和食の数々(握りすし、焼うどん、茶わん蒸し、蟹入り味噌汁等々)を大吟醸酒、ワイン等を戴きながら、大使館の方々、そして、お互いの健闘をたたえながら、しっかり食事をご馳走になりました。

その間、先ほどの各国の代表者が大使を交えて、今後のバルト三国としての剣道発展の為、現在の剣道大会をバルト三国で運営を協力し、大きく発展していく方向が検討され、来年以降は充実した 3 国主催の剣道大会として行く方向になったようです。



大使公邸にお別れして、ホテルに戻りました。このホテルは元修道院を改装したもので、実に静かなマリアホテルと言いました。食堂の上には十字架が飾られ、旧市街の中にあり、名所の「夜明けの門」とすぐ隣の位置です。この門を通る時、十字を切ったり、礼をして通る方々の姿が見受けられました。

*ビリュニス観光

6月1日、翌朝はビリュニスの歴史地区を徒歩にて観光、この国の大学で日本語をボランティアで教えて見える、芳賀先生がご案内下さり、旧市街の各宗派の教会が立ち並ぶ街並みや、街を守るための城塞等を見て、最後ゲデミナス塔へ急坂を登り、頂上から旧市街と新市街を一望に見る事が出来ました。昼食時間が遅くなりましたが、餃子と牛井で昼食を取りました。一旦ホテルに戻り、また、出直して、近くのスーパーマーケットを教えて戴き、お土産の購入をしました。



*ビリュニスの剣道稽古会

午後6時から昨年と同じ、体育館で子供2名含む26名が参加され、約1時間の稽古会を行いました。芳賀先生から、こちらの方は苦しくなると、隅の方へ座り込み、休息してしまいますので、私が見張って置きます。との事でしたが、そんな方も見受けられず、2度も稽古を挑んでこられた方もいて、しっかり稽古をされました。

*最後の懇親会

リトアニア(ビリュニス)での予定が全て終わり、日本へのおみやげ等も用意できました。午後8時、バスにて旧市街の中を居酒屋さんへ向かいました。ほとんど貸し切り状態で、思い思いの席につき、目の前の机の中ほどで首を出している、生ビール用のコックを各自で捻ってコップに注ぎ、乾杯をいたしました。あっという間に2時間が過ぎ、来年の再会を約束して、ホテルに戻りました。

*ホテルを後に帰国へ。

6月2日(金)マリアホテルから午前9時、大学のバスで、ビリュニス空港へ送って下さり、全員無事、フィンランド空港へ到着しました。ここで湯村先生から「今回の訪問が無事、盛会にそして、有意義に行われ、皆さんの御協力に感謝申し上げます。」とのお挨拶を戴き、空港にて、成田組、中部空港、関空、そして、これからドイツ訪問をされる方々に分かれて、自分の飛行機を待ちながら、ここでも、うどん、ラーメンやすし、カレー等があり、高くて不味いけれども仕方なく食事をして約4時間過ごしました。

17時15分発の飛行機に乗り込み、中部空港まで9時間の空の旅、時差の関係で、6月3日(土)午前9時到着しました。略、各地域とも同じ時間帯の到着です。これで、今回の3か国の剣道交流訪問を無事、終えました。以上、報告といたします。

2017年6月

文責、IGKC 副理事長 井上一久